

9

長月
第224号

広報すもと



特集 私には「おとお、おかあ」がいる。

ピックアップ 乗って残そう「みんなのバス」バス路線が再編されます



私には

「おとお、おかあ」がいる。

親の虐待や貧困、病気といったさまざまな事情により、生みの親と離れて暮らす子どもが、

全国で約4.2万人、県内では約1000人います。

平野景子さん（30歳・仮名）もその一人でした。

景子さんは、15歳から約5年間、「養育里親」の元で暮らしました。

子育て環境の変化により、

親と子の関係が多様化、複雑化する中で、「家族」のかたちを見つめます。

◇小学生から施設で暮らして

させていました。

そんな自分を見かねてか、里親

私は、幼少期から親の虐待を受け続けていました。小学生の時に保護され、施設に入ることになりました。ですが、「助かった」って心の底から思つたんですね。暴行を受ける心配がないし、安心して寝られる場所もある。食事もちゃんとあって。友達もできて…。ただ、私が悪いんですが、素行があまり良くなくて、施設の人たちをよく困

の元で暮らす方がいいだろうと勧められたんです。そうして里親さんの元へ行くことになりました。

何組かの里親さんが受け入れてくれたんですが、なかなか環境に馴染めなくて、施設に戻りたいってずっと思っていましたね。

でも、いよいよ受け入れてくれる人がいなくなつて、最後に受け入れてくれたのが、里親の経験がある

「おとお、おかあ」でした。その時、私は中学3年生になっていました。

◇今思えば、甘えていた

2人は干渉してくることもなく、程よい距離感で見守ってくれる人でした。最初はまだ施設に戻ることを諦めてなかつたんですが、気が付けば、戻りたいって気持ちがなくなりました。ここで暮らしていく自分が想像できるようになっていたんでしょうね。

里親制度

生みの親と離れて暮らす子どもを、自分の家庭に受け入れ、温かい愛情と正しい理解で育てる存在が「里親」です。

里親には、一定期間受け入れる養育里親や養子縁組を前提とする養子縁組里親など、さまざまな受け入れ方があります。そのため、里親は必ずしも養子縁組をするということではありません。

里親は子どものため

子どもが家庭的な環境で暮らすことは、成長に良い影響があるとされています。

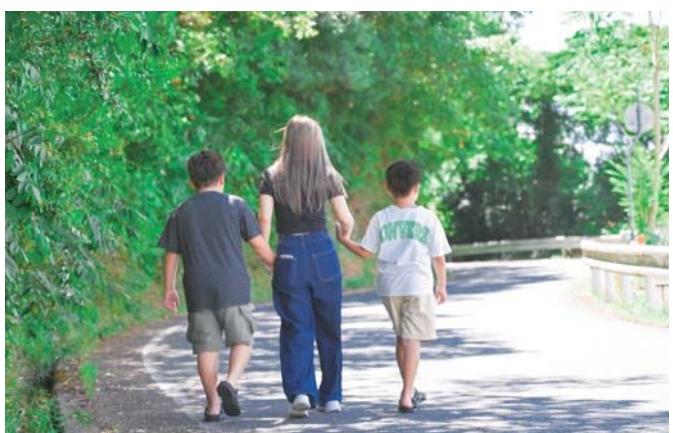
県内で約1000人いる親と離れて暮らす子どものうち、里親に受け入れられている子どもは約240人です。

ただ、すぐに「反抗期」になったんです。やつと反抗できる人ができたら(笑)なので、それからは、ほとんど家にいなかつたと思われます。連絡もせず、外で遊んでばかり。「連絡くらいしなさい」と叱られることもありました。迷惑もいっぱいかけましたよ。高校に呼び出され、謝りに行くこともあります。そういう時でも、何も言わずに一緒に来てくれたんです。でも当時は、申し訳なさやありがたみなんて感じて

いなくて、自分のことばかり考えていました。今思えば、甘えていたのもかもしれません。「おとお、おかあ」は私が私らしく、私のしたいことをさせてくれていたのかなって。

◇育ての親に思うこと

高校を卒業して、20歳で家を出ました。妊娠して結婚したんです。2人は全然驚いた様子もなく、妊娠していたことも気付いていたようでした。



今は自分の家庭を持つ景子さん。
子の手をしっかりと握って歩んでいます。

生みの親より育ての親という言葉がありますよね。その通りだなって。自分は「おとお、おかあ」を親だと思っていました。生んだ人より、親だと思っています。それを2人に伝えたいと思ったこともないし、伝える必要もないと思っていました。私が思っているだけでいいんだって。だから、この言葉が紙面を通して、おとお、おかあに伝わってしまうと、とても恥ずかしいです(笑)

現在、親と暮らせない3人の子どもを受け入れ、育てる

住谷富雄さん・美奈子さん夫婦に出会いました。

約20年前から里親を始め、

これまで17人の子どもを受け入れてきたという
住谷さん夫婦に話を聞きました。



◇きつかけは家族像

美奈子さん(以下美)

里親を始めたきっかけは、私が子どものたくさんいる家庭で子育てをしたいという思いからです。いろんな個性がある家庭の中で、子どもには育つてほしくて。さまざまな理由で親と暮らせない子どもがいることを知っていたので、そういう子どもに「家族」を経験してもらいたい。そして、私もその親を経験させてもらいたかったんです。

富雄さん(以下富) 私も妻もきょうだいの多い家庭で育ちましたし、実子も4人います。だからか、子どもを受け入れて、人数が増えてあまり変わらないんですよ。上の子が面倒も見てくれて。家族の中で支え合いも生まれます。

美 一番下の実子が幼い頃に受け入れていた時は、夫も仕事をしていたので、私はさすがにしんどかったですよ(笑)。今は、夫も仕事をやめて、半分施設のような形の「ファミリーホーム」という制度で、養育里親をしています。

富 なので、今の方が、子ども一人人にじっくり向き合う時間が増えましたね。

ファミリーホーム

ファミリーホーム(小規模住居型児童養育事業)の大きな特徴として、最大6人まで子どもを受け入れることができます。

美 ある意味で、私たちより子どもの方が大変かもしません。自分がどういう理由や状況で里親の元へ来ているか悩み、葛藤もするでしょうし、年齢によつては理解が追いつかない場合もあるでしょう。だから、子どもをサポートしながら、大切にコミュニケーションをとっています。

富 子どもには、不安のない「普通の家庭」を楽しんでもらいたいです。普通というのが大切なことです。友達も遊びに来るし、お小遣いもある。習い事もする。そういう普通の環境が、子どもにとって必要なものだと感じています。だから、私たちの家族として一緒に暮らしますし、家族のルールを大事にしてもらっています。

家族みんなでの昼食の時間。場を和ませようと冗談を言う富雄さん。



富 養育里親として子どもを長期で受け入れる場合、基本的には18歳まで、もしくは自立するまでです。子ども自身が自立できる見通しをつけられるように、育てる責任が私たちにあります。

美 「期限」があるので、いろんな経験をさせてあげたい。やりたいことができる環境を子どもに提供したい。子育てを凝縮して、注いでいるかも知れません。

富 私たちの元を離れる時に、「頑張って生きていくんだよ」と後押しする方が、その子のためになる場合もあるし、「何かあつたら頼つていいよ」と声をかけた方がいいこともあります。それは子どもが抱

で受け入れる場合、基本的には18歳まで、もしくは自立するまでです。子ども自身が自立できる見通しをつけられるように、育てる責任が私たちにあります。

富 養育里親として子どもを長期で受け入れる場合、基本的には18歳まで、もしくは自立するまでです。子ども自身が自立できる見通しをつけられるように、育てる責任が私たちにあります。

◇自立するまでだから――

美 実子であつても受け入れた子であつても、子どもはいつか親元を離れ、自立していくものだと思って育てています。なので、私は子どもの結婚式で泣かないタイプです。夫は泣きますが(笑)

える背景にもよるんだと思います。そして、その後の関係については出て行つた子の思い次第なのがなと。私たちとしては、またいつでも顔を見せてくれよと思っています。

富 当たり前かもしませんが、子どもは自分を生んだ親に育ててもらう方がいいと思っています。しかし、現実問題として、親、子、環境、どちらかに何らかの「子育て」を難しくさせる要因が存在しています。その受け皿として、養育里親の存在は必要なんですよ。

富 私たちは、子どもを預かり、育て、社会へ送り出すことが養育里親の役割だと感じています。家庭的な温もりを子どもに感じてもらうことで、将来、その子が家庭を持つときの基礎ができ、道するべとなると信じているんです。

美 「家族」の在り方も多様化し

◇里親だから思うこと

富 いろいろな子と時間を一緒にしました。「一人一人思い出がありますし、顔も名前もずっと覚えています。そうやって里親をさせてもらっているからこそ、やはり子どもが幸せな顔をしていることが、私たちの幸せですよ。

◇私たちの幸せ

富 初めて長期間受け入れをした子が大人になって、子どもを連れて来てくれたんです。幸せそうにしていました。

富 その子はなかなかのやんちゃくれだったので、どうなるかと心配してばかりだったんですよ(笑)

てきているから、地域での理解も進んできているように感じています。養育里親をする人が島内でも増えつつあり、今後は、里親同士のつながりを作る機会も増やしていくければと考えています。同じ立場でしか分からぬ悩みもあります。自分が抱えると煮詰まってしまふから、共有することで楽になるとと思うんですよね。

私には必要だつた存在



景子さん(仮名)

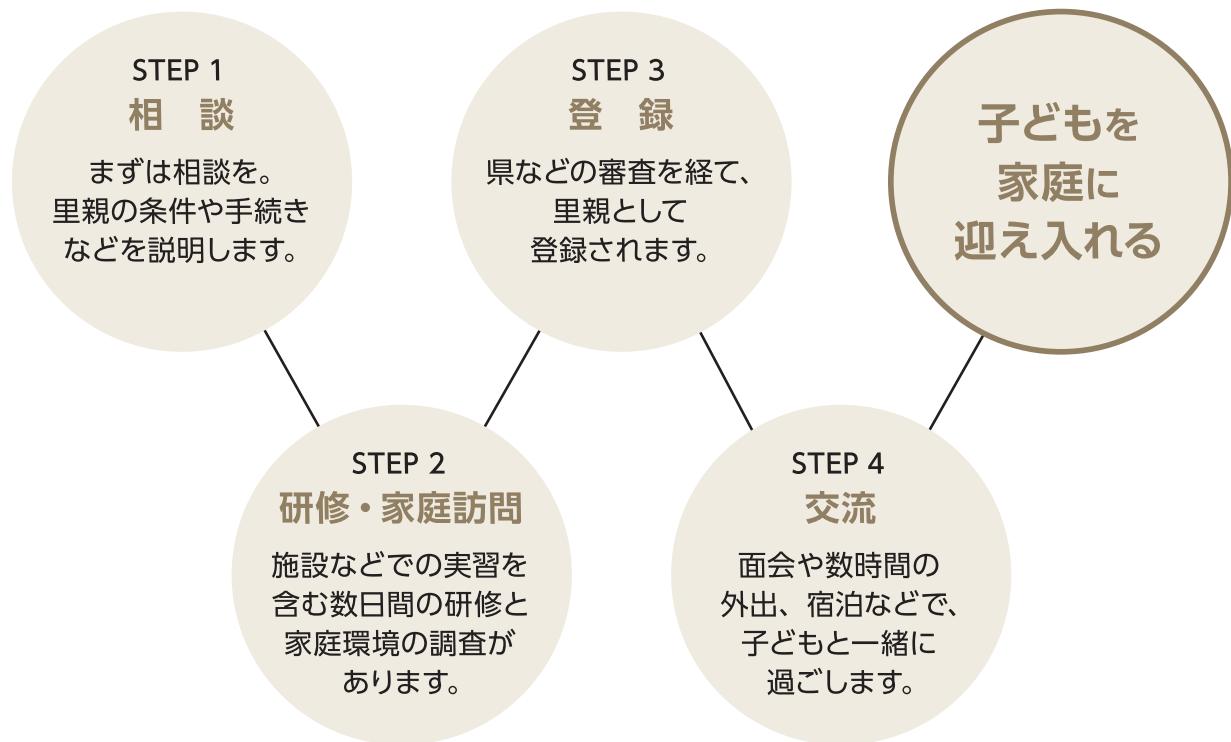
子育てをしている時に、おとお、おかあが私にしてくれたことを思い出しています。今でも相談に乗ってくれるし、当たり前のように心の側にいてくれる。2人の存在はとても大きいんですよ。

残念なことに、世の中、良い親ばかりではないです。悲しいニュースがなくなることもないんだろうなって、ほぼ諦めてしまっています。それだったら助けてくれる大人が、1人でも増えてくれたらいいなと思っています。

里親にも里子にも、合う合わないがあるので、里親という制度が、絶対に良いものかは分かりません。ただ、私には必要でしたし、あって良かったと感じています。制度が知られていないので、もっと広まれば救われる子どもも増えると思います。子どもが甘えたいときに甘えられる存在がいる。「里親」はいんだらうなつて。

数年前から保護された子や里子のお世話をしています。本当は私も子どもを受け入れたかったんですけど、自分の子どもで手一杯で。おとお、おかあは偉大だと思いましてね。それでも、自分と同じような境遇の子どもと関わることがしたかつたんです。といっても、特別なことはしていません。自然体で普段通りに接するだけなんですよ(笑)。おとお、おかあが私にしてくれたことなんです。それがあの時の私には心地良かつたんです。一方で私の力では、そういった子どもたちの未来をどうにもできないことを痛感しています。それでも、どうかこの子たちの人生が少しでも良い方向に進みますようにと、願わずにはいられないんです。もう少し、そういう子に優しい世の中になればなども思います。甘やかしてくれとまでは言わないけどね。

子どもを迎えるまでの4ステップ



広がる支援 里親を支える重要性

全ての子どもに家庭養育を保障する社会を目指す上で、「里親」という存在はとても重要です。

子どもの育ちには、特定の信頼できる大人と愛着関係を築き、絆を結ぶことが大切です。無条件に自分が受け入れられたという経験は子どもの心を豊かにもします。その「大人」に里親は十分なりうる存在なんです。

里親になる条件はいくつもあり、そう厳しいものではありませんが、やはり子育てへの意欲、情熱、何より深い愛情が求められます。子育てには相当なエネルギーが必要です。里親として子どもを迎える入所の存在なんです。

里親になる条件はいくつもあり、そう厳しいものではありませんが、やはり子育てへの意欲、情熱、何より深い愛情が求められます。子育てには相当なエネルギーが必要です。里親として子どもを迎える場合、子どもを里親が支え、里親を支援する専門家がいる。そうした「チーム養育」を進めています。このチーム養育が全ての子どもに家庭養育を保障することにつながると考えています。



木下 浩昭 こども総括監・所長
県中央こども家庭センター

合、そのエネルギーはさらに必要となります。子どもの性格や年齢もさまざまですし、抱える事情が想像を超えることもあります。ベテランの里親でさえ、「戸惑いや難しさを感じることもあるのが現実です。そういう子供たちが、里親に支えられ見守られた経験によって、これまでの自分、これから自分を受け入れられるようになり、前を向いて生きていこうと成長することができます。里親さんは伴走し、その育ちを見届けてもらいたいんです。

だからといって里親になつたら、悩みを全て自分で解決してくださり、ということではありません。私たちや専門家たちによるサポートもありますし、里親への支援も徐々に広がってきています。

説明会とパネル展示を開催

「里親」のことをもっと知りたい

「里親」のことをもっと知らうための、里親制度の説明会とパネル展示が行われます。里親について深く知りたい人から、関心のある人まで、気軽にお越しください。

◇パネル展示

内 容

制度について紹介しているほか、里親や専門家、里親家庭で育った子のエピソードも展示しています。

日 程

9月30日(月)～10月4日(金)

場 所

市役所本庁舎1階「洲本の広間」

◇里親制度説明会

内 容

県中央こども家庭センターの職員や里親支援の専門相談員が疑問・質問に答えます。また実際に子どもを受け入れている里親さんも参加を予定しています。入退室自由です。

日 程

10月4日(金) 13:30～16:00

場 所

市役所本庁舎2階
202会議室

問・相

県中央こども家庭センター
☎078-923-9966



里親制度
の詳細は
こちら

乗つて残そう「みんなのバス」 バス路線が再編されます

10月1日(火)からバス路線を再編。運賃やダイヤの改正、バス停の新設が行われます。併せて、洲本市バス利用促進事業の見直しも行います。

淡路交通

対象路線

縦貫線（洲本BC～

津名高校前～津名港）
(洲本車庫前～津名港)

運賃 大人1乗車につき
(往復3便)
500円(均一運賃)

運賃の減額

現在の運賃から約4割減額され、大人1乗車につき100～370円で利用できます。


縦貫線についてはこちら

あわ神・あわ姫バスについてこちら

ダイヤ改正・バス停新設

バス停「津名高校前」を新設。津名高校前を経由して、津名港まで運行する便ができます。

淡路市「ミニバス」

岩屋方面へ乗り換えないで利用できる新規路線の運行が開始します。

問企画課 ☎ 24-7614

(洲本BC～津名高校前～
津名港)

募集人数
5歳児 25人
4歳児 25人
3歳児 18人

洲本市バス利用促進事業の一部見直し

通縦貫線のため、淡路交通の対象外となります。

※津名高校前に停車しない便があります。

あわ神・あわ姫バス

岩屋方面へ乗り換えないで利用できる新規路線の運行が開始します。

洲本市デジタル商品券事業を実施

本市では、物価高騰による市民生活への影響の緩和や、材料調達コスト上昇の影響を受ける店舗などを支援するため、今年の冬にデジタル商品券事業を実施します。

デジタル商品券 プレミアム付き

今後、参加店舗の募集や商品券の購入申込受付(10月開始予定)などを順次行

Bアプリを使ったデジタル商品券事業です。紙媒体の商品券は発行しません。

※商品券の購入申込には、「洲モチー」の登録が必要です。

問商工観光課

☎ 24-7613



HPはこちら

洲本幼稚園 新入園児募集

本市在住で、令和7年4月から市立洲本幼稚園に入園を希望する児童を募集します。

入園願書受付

期間 10月21日(月)～24日(木)

時間 午前9時～午後5時

問▽洲本幼稚園

☎ 22-1212

▽学校教育課

☎ 22-6266

無料

入園料・保育料

問▽洲本幼稚園

☎ 22-1212

▽学校教育課

☎ 22-6266

無料

手書き

入園願書など所定

の用紙に必要事項を記入し、幼稚園に提出してください。

願書の配布場所と配布時期

▽学校教育課 10月15日(火)

▽洲本幼稚園 10月21日(月)



夢あるくらしのパートナー

淡陽信用組合

理事長 河本晋一

広告

定期接種が始まります

高齢者の皆さんへ新型コロナワクチンの定期接種が始まります

新型コロナワクチンの定期接種が10月1日(火)以降、準備が整い次第始まります。ワクチン接種をすることでの重症化予防が期待できます。接種開始日など最新情報はHPを確認するか、問い合わせてください。

※本市から接種券や通知書などの送付はありません。

※他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

同時接種は、医師が必要と認めた場合に可能です。

※本人の意思に基づいて接種するかを判断してください。

対象者 本市在住で次の①または②に該当する人
 ①接種日時点、65歳以上
 ②接種日時点、60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に一定の障害がある。またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害がある（身体

問 健康増進課



詳細はこちら

☎ 22-33337

障害者手帳1級相当)
自己負担金 3千円
 課で発行の「生活保護受給証明書」を医療機関に提出することで免除となります。

障害者手帳1級相当)
自己負担金 3千円
 課で発行の「生活保護受給証明書」を医療機関に提出することで免除となります。

実施期間

令和7年3月31日(月)まで

接種場所

島内の実施医療機関

※各医療機関へ要予約

※島外の医療機関で接種を希望する場合は、問い合わせてください。

接種時に持参するもの

○本人確認書類（健康保険証や運転免許証など）

○身体障害者手帳または医師の診断書（対象者②に該当する人）

効果の持続期間は約5ヶ月です。かかりつけ医に相談し、流行する前に受けましょう。

※他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

同時接種は、医師が必要と認めた場合に可能です。

※島外の医療機関で接種を希望する場合は、問い合わせてください。

効果の持続期間は約5ヶ月です。かかりつけ医に相談し、流行する前に受けましょう。

※他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

同時接種は、医師が必要と認めた場合に可能です。

※島外の医療機関で接種を希望する場合は、問い合わせてください。

定期接種が始まります

高齢者の皆さんへインフルエンザの定期接種が始まります

インフルエンザの主な感染経路は飛沫感染で、高齢者や免疫力が低下している人は、感染すると肺炎を伴うなど、重症になることがあります。インフルエンザの予防接種は、受けてから抵抗力がつくまで約2週間かかり、効果の持続期間は約5ヶ月です。かかりつけ医に相談し、流行する前に受けましょう。

※他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

同時接種は、医師が必要と認めた場合に可能です。

※島外の医療機関で接種を希望する場合は、問い合わせてください。

対象者 本市在住で次の①または②に該当する人
 ①接種日時点、65歳以上
 ②接種日時点、60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に一定の障害がある。またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害がある（身体

障害者手帳1級相当)

自己負担金 1500円
 課で発行の「生活保護受給証明書」を医療機関に提出することで免除となります。

自己負担金 1500円
 課で発行の「生活保護受給証明書」を医療機関に提出することで免除となります。

実施期間

令和7年1月31日(金)

接種場所

島内の実施医療機関

※各医療機関へ要予約

効果の持続期間は約5ヶ月です。かかりつけ医に相談し、流行する前に受けましょう。

※他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

同時接種は、医師が必要と認めた場合に可能です。

※島外の医療機関で接種を希望する場合は、問い合わせてください。

障害者手帳1級相当)

問 健康増進課



詳細はこちら

☎ 22-33337

120年前の明治37年（1904年）に【洲本川の付け替え工事】が行われた。（111）広告

岩田康郎 町長！ これからも岩田通りの洲本高速バスセンター交差点で見守ってください。



当社の生みの親は江戸時代から続く漁師町漁業者が組織する洲本漁業協同組合。昔から海辺の改良に大きく関わりながら昭和51年（1976年）水先船で事代主神社前の船溜まりから水先人送迎を開始、48年が経過。その後平成8年（1996年）の新たな埋立事業により漁船は現在の新船溜まり（昔の河口）へ移転、水先船は本港南防波堤に単独で移動。新埋立地にはマルナカやバスセンター等が出来、平成10年に明石大橋が開通。なお組合は平成26年（2014年）合併で洲本炬口漁協。当社は独立。洲本G船舶有限会社

▼申告書の配布場所
※前年中の収入が無かつた場合でも申告は必要です。

○所得（課税）証明書が発行できません。

○国民健康保険税などは、前年の所得を基に計算されます。所得の申告がなければ、保険税などの減額が受けられない、または病院での自己負担額が高くなる場合があります。

○申告がない場合
申告をしていない人は、令和6年度市・県民税・森林環境税申告書の提出をお願いします。

市税の申告について

税金

すもとのお知らせ information



問 税務課	○由良支所
☎ 24-7603	

国民年金保険料 申込期限について

保険・年金

扶養親族等申告書の提出をお忘れなく

9月12日(木)より順次、日本年金機構から次の対象者へ、令和7年分扶養親族等申告書を送付しています。

▼提出期限 10月31日(木)

▼送付対象者 老齢または退職を支給事由としている年金の支給額が、左記に該当する人

▽6ヶ月前納（後期分）は10ヶ月～翌年3月分の保険料を前納するものです。納付書による前納申込は10月中旬までに

手続きしてください。納付期限は10月31日(木)です。

問 ▽ねんきん加入者ダイヤル

☎ 0570-0003-004

○申告書の配布場所
※前年中の収入が無かつた場合でも申告は必要です。

力歯科医院
最寄りの協



協力歯科医院の一覧はこちら

後期高齢歯科健診 歯周疾患検診

健康・福祉

■人の動き

人口	40,991	(-7)
男	19,589	(+15)
女	21,402	(-22)
世帯	20,410	(+ 4)

令和6年9月1日現在／()内は前月比

■納期のお知らせ

▽市・県民税・森林環境税 第2期	納期限 : 9月30日(月)
▽国民健康保険税 第3期	納期限 : 9月25日(水)

■広報すもとが いつでもどこでも読める

マチイロ



アプリをダウンロードするとスマートに広報紙が届きます。

ホームページ



毎月15日更新
バックナンバーもいつでも読みます。

■ふるさと納税問題

温泉利用券などの債務残高 ▽令和6年7月末時点 4億9344万円 (-3567万8千円)

()内は前回比



債務残高の
詳細はこちら

■申込方法	電話
申込健康増進課	☎ 22-3337

GENKIすもつと サポーター養成講座 参加者募集

「いくつになつても健康でGENKI（元気）にすもつと（洲本市）に住み続ける」を目標に、さまざまな健康（介護予防）についての知識を身に付けてみませんか。

▼日時

10月9日(水)～12月11日(水)の毎週水曜（全10回）

午後1時30分～午後3時30分

▼場所

市役所本庁舎

▼対象

おおむね60歳以上の人

▼費用

無料

▼申込期限

10月2日(水)

▼申込方法

電話

▼申込期限

26-0600

▼申込方法

電話

▼申込期限

26-0600

10月の健康教室・相談

■こころの相談

日時 電話でお問い合わせください。
場所 みなと元氣館
問 ☎22-3337

■脳いきいき相談（予約制）

日時 電話でお問い合わせください。
場所 地域包括支援センター
予約 ☎26-3120

■歯科保健相談（予約制）

日時 23日(火)
時間はお問い合わせください。
予約 ☎22-3337

■集団健診

(特定健診・がん検診など)
これから予約希望の方は
電話でお問い合わせください。
予約 ☎22-3337

■ヘルスアップ教室（予約制）

「自分の食べ方の実態を見る」
日時 15日(火) 9:30～11:15
16日(水) 13:30～15:15
場所 みなと元氣館
予約 ☎22-3337

■ヘルスケアサポーター

日時 ①18日(金) 19:00～20:30
②25日(金) 19:00～20:30
場所 ①みなと元氣館
②中山間総合活性化センター
予約 ☎22-3337

■乳がん検診

これから予約希望の方は
電話でお問い合わせください。
予約 ☎22-3337

応急診療・小児救急

■洲本市応急診療所

場所 みなと元氣館1階
問 ☎24-6340（診療時間内のみ）
※予約不要。ただし、高熱などの強い症状がある人は、必ず来所前に電話でご相談ください。

受付時間	日・祝等	月～土
9:00～11:30	○	△
13:00～16:30	○	△
18:00～21:30	○	○

○印：開業日
△印：内科と小児科の二診体制

■小児夜間救急電話センター

受付時間 22:00～翌朝6:00
(診療窓口受付は5:40まで)
問 ☎44-3799（対象は中学生まで）
※話し中の場合は、時間をおいておかけ直しください。
※通話は、お客様対応の品質向上のために録音させていただきます。

淡路障害者自立支援協議会 ホームページ開設

淡路障害者自立支援協議会

難聴者の体験談、補聴器や
きこえに関する相談会を実施
します。

長寿をお祝いし、祝金をお
贈りします。対象者（左表）
には通知書を郵送します。

「長寿祝金」をお贈りします

参加者募集

じ市の3市の共同設置による
は、洲本市・淡路市・南あわ

協議会です。協議会は「障害
者総合支援法」に基づき、各

市町村に設置することになっ
ており、障害のある人が暮ら
しやすい地域社会などを考え
るための場です。

協議会では、障害のある人
や関係者に向け必要な情報を
分かりやすく発信していきま
す。

HPはこちら

市町村に設置することになっ
ており、障害のある人が暮ら
しやすい地域社会などを考え
るための場です。

協議会では、障害のある人
や関係者に向け必要な情報を
分かりやすく発信していきま
す。

HPはこちら

▼日時

10月20日(日)

午後1時～午後4時

▼場所

やまでの会館

▼参加費

無料

▼定員

30人

に必要事項を記入し、FAX

などで提出するか、スマホ・
P Cから申し込みください。

チラシ兼申込書

に必要事項を記入し、FAX

などで提出するか、スマホ・
P Cから申し込みください。

申込書はこちら

に必要事項を記入し、FAX

などで提出するか、スマホ・
P Cから申し込みください。

全国対応
見積り無料
24時間
対応

墓じまい

墓じまい本舗® 淡路島店

無料でパンフレットをお送りします

0120-88-0734

広告

健康・福祉

コミュニケーション 支援を学びましょう

淡路聴覚障害者センターでは、聴覚に障害がある人に対する「要約筆記」講座を開催します。ボランティアに興味のある人はぜひ参加してください。

▼日時

○9月29日(日)

午前10時～正午

○10月6日(日)

午前10時～正午

○10月20日(日)

午前10時～午後3時30分

○10月20日(日)

午前10時～正午

結核・呼吸器感染症予防週間	
9月24日(火)～30日(月)	は結核・呼吸器感染症予防週間です。
10月16日(水)	次の症状が長引く場合には、医療機関で胸部エックス線や痰の検査を受けましょう。
○咳や痰が2週間以上続く	○食欲不振など
○発熱、寝汗	○急速な体重減少
問 洲本健康福祉事務所	問 洲本健康福祉事務所
☎ 26-2062	☎ 22-3337

献血

ている「屋外広告業登録業者」のみ行なうことができます。

板の倒壊や落下などの危険性が高まっています。事故を未然に防ぐためにも、定期的な点検を行い、適切な管理を心がけましょう。

▼定期的な点検を

近年、老朽化などにより看板の倒壊や落下などの危険性が高まっています。事故を未然に防ぐためにも、定期的な点検を行い、適切な管理を心がけましょう。



詳細はこちら

問 用地課 ☎ 23-1757

全国地域安全運動

みんなでつくる
安全・安心のまち

屋外広告物を設置する 皆さんへ

▼屋外広告物とは

常時または一定期間継続して、屋外で公衆に対し表示される、看板、はり紙、広告塔などのことです。

街の美観や自然景観の維持、公衆への危害防止のため、屋外広告物を設置するには、事前に市の許可を受ける必要があります。

▼運動期間

10月11日(金)～20日(日)

問 (公社)日本オストミー協会

☎ 23-1925

小森石油 株式会社

小森石油 株式会社

- ガソリン小売事業
- 不動産賃貸事業
- 広告宣伝事業(チラシ・看板)
- コピーライター事業
- 企業コンサルタント事業
- 有名書家による文字デザイン事業
- 飲食業の出店プロデュース

※実は、このようなこともあります。



給油で
つながる。

お得で
便利!

このプリカ1枚で
対応店舗どこでも
給油できるよ!

プレミアム付プリペイドカード
全店プリカ有効期限6ヶ月



20店舗展開中!

洲本市地球温暖化対策 実行計画実施状況報告

本市では、地球温暖化の原因となる温室効果ガス(CO₂)の削減を目指し、令和5年7月に策定した第4期計画に基づき各種取り組みを行っています。

地球温暖化への関心を高め、職員一丸で目標達成に向けて取り組み、排出量削減に努めています。

皆さんも、職場や家庭での生活を見直し、身近なことから節電対策などの省エネ行動、ごみ減量化への取り組みをお願いします。

▼対象施設

市が直接管理する施設など（庁舎、学校などの公共施設や車両など）

▼計画期間

令和5年度～令和9年度

▼基準年度（令和4年度）のCO₂排出量

274万7824・56kg

▼CO₂削減目標

基準年度の排出量に対し10%以上削減

▼令和5年度CO₂排出状況

273万8309・26kg
(基準年度比0・3%減)

▼CO₂排出量に占める
電力使用量の割合
73・0%

▼入札期間
▽せり売り方式
10月29日(木)午後1時～
31日(木)午後11時

▽入札方式
10月29日(火)午後1時～
11月5日(火)午後1時～

▽日時・内容（場所）
K S I 官公庁オークションの
IDが必要です。
詳細は本市HPを確認して
ください。

※参加申込および入札には、
市税徴収のため、動産(せり
売り方式)および不動産(入札
方式)の公売を予定しています。

○9月26日(木)
午後1時30分～午後3時30分
サイバー空間の危険から
身を守るために（南あわ
じ市役所）

○10月16日(水)
午後1時30分～午後3時30分
モノの整理は心の整理（県
洲本総合庁舎）

○12月12日(木)
午後1時30分～午後3時30分
人生100年時代～ゆ
たかなシニアアラライフ（淡
路市役所）

消費者力アップ リレーセミナー

消費者問題への関心を高め
るため、消費者力アップブリレー
セミナーを開催します。

▼日時・内 容（場所）
セミナーを開催します。

広告

本店 洲本市宇山

支店 島内 17店
神戸市 6店
明石市 2店
西宮市 1店

今日も楽しいおつきあい



淡路信用金庫

理事長 石村 健

申・問
県県民躍動室
26-33360



申込方法など
詳細はこちら

▼対象
県内に在住、在勤、在学の人
各回40人（先着順）

▼定員
人生100年時代～ゆ
たかなシニアアラライフ（淡
路市役所）

▼参加費 無料

お知らせ

家庭用品修理会

家庭にある刃物の研ぎ修繕を行います。物を長く大切に使い続けましょう。

▼日時

▽受付

10月4日(金)

午前10時～正午

▽返却

10月10日(木)

午後2時30分～午後4時

▼場所

五色中央公民館

▼内容

包丁類、ハサミ類の刃研ぎ 600円～

問

洲本市消費者協会五色支部

「法の日」無料相談会

司法書士、土地家屋調査士、行政書士による無料合同相談会を実施します。(予約不要)

▼日時

10月1日(火)

午前9時～正午

▼場所

市役所本庁舎4階会議室
兵庫県行政書士会淡路支部
(担当・船越)

問

23-0086

第3回下水道事業審議会

下水道事業に関する重要な事項について、市民の皆さん

のご意見を生かせるよう、有識者や住民代表で構成される

「洲本市下水道事業審議会」を

公開で開催しています。

令和6年度の下水道事業審議会では、下水道使用料の今

後の在り方について、審議を行っています。

▼日時

10月9日(水)

午後1時30分～

▼場所

市役所本庁舎

▼申込

審議会当日の午後1時10分までに窓口で申し込

み



詳細ははこちら

甲・問 洲本まちなか広場オープンにぎわいと交流の場に

市役所本庁舎西側の公設市

場跡地に、まちなかのにぎわいと交流を促進する多目的広場

「洲本まちなか広場」がオープンしました。心地よい人工芝

の区域と土の多目的区域を整備した同広場は、スポーツや



洲本まちなか広場

甲・問

24-17613

体操、ボール遊びなどに利用できるほか、イベント会場にも活用できます。

盛土規制法に基づく基礎調査結果の公表

県は、令和7年4月を予定している「宅地造成及び特定

盛土等規制法（盛土規制法）」

運用開始に向け、盛土に伴い人家に被害を及ぼしうる区域

などを規制区域とするための基礎調査を行い、このたび結果を公表しました。

▼注意事項

○利用の際は、騒音など近隣の迷惑とならないよう気を付けてください。

○駐車は広場の利用者に限りません。

問

県建築指導課

24-078-362-3585

秋の全国交通安全運動

9月21日(土)～30日(月)に、秋の全国交通安全運動を実施します。期間中は、次のことに

重点を置き運動を展開します。

- ①反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- ②夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用
- ③自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底



調査結果はこちら

遺品整理や断捨離で利用してみませんか？

※一部買取できない商品もあります。

売ってスッキリ！

現金にもなるし

一石二鳥ね！

ブランド品ならボロボロでも遠慮なくお持ち込み下さいませ。

運営は、Q人あわじ発行の淡路印刷(株)です

買取大吉
KAITORI DAIKICHI

淡路洲本店

洲本市本町4-3-13 入口は弁天銀座側になります
営業時間／11:00～17:30 ●定休日：毎週火曜日、水曜日
古物営業法に基づき、ご来店の際は身分証明書(運転免許証・保険証)をご持参下さい。
兵庫県公安委員会 第631802300010号



令和6年全国家計構造調査

▼目的 家計における消費、所得、資産および負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布や消費の水準、構造などを明らかにすること。

▼期間 10月～11月

▼対象 無作為に選定された48世帯



調査事項や
調査方法など
詳細はこちら

マイナンバーカード 休日窓口開設について

平日の日中にマイナンバーカードを受け取れない人は、左記の休日に受け取れます。また、カードの申請および電子証明書更新、暗証番号の初期化の受付も実施します。休日窓口は完全予約制です。平日に電話で予約してください。

■問 企画課 ☎ 22-7067



詳細はこちら

洲本市民の警察官賞表 彰式・洲本の安全安心 を守る市民大会

本市と洲本防犯協会、洲本警察署は、安全で安心な住み

▼時間 午前9時～正午

▼場所 市民協働課（1階）

☎ 22-7926

洲本市未来投資推進事業

希望や活気にあふれた洲本市の将来につながる、自主的な事業や活動を支援します。

▼第2回募集期限

10月25日(金)

「洲本市民の警察官表彰式」、「洲本の安全安心を守る市民大会」を開催します。
来場者全員に記念品を配布するほか、お楽しみ抽選会も行います。

▼日時 10月24日(木)
午後1時30分～

スマートひょうごサポーター養成講座 受講者

スマートフォンでの行政サービス利用などを身近に相談できる人材を養成するため同講座を開催します。

▼申込不要
問 秘書広報課 ☎ 26-0175

▼基本編

▼対象者

県内に在住または、在勤の人

▼受講形式 動画視聴

フェニックス共済の 出前受付窓口を開設

掛け金は年間5千円の少額負担で、全ての自然災害が対象です。建物被害半壊以上で再建すると最大600万円給付します。給付時は、他の保険に加入していても単独で支払います。

▼実践編

▼対象者

は、在勤し、地域活動団体などに所属する、修了

後に教え合いを広める思

いがある人

がいる人

▼日時 10月30日(水)

11月6日(水)

①10月22日(火) 午前10時～正午

五色庁舎1階

午前10時～午後4時

▽場所 洲本商工会議所

午前9時30分～午後3時

市役所本庁舎1階

洲本の広間

申込みはこちら

またはクレジットカード
問 福祉課 ☎ 26-1166

募 集

「洲本市民の警察官表彰式」、「洲本の安全安心を守る市民大会」を開催します。

来場者全員に記念品を配布するほか、お楽しみ抽選会も行います。

銀行の届出印と口座番号、

申込はこちら

広告

淡路島のしろあり防除・害虫駆除専門店

Alice アリス

ホームドクター

南あわじ市北阿万筒井76-1

☎ 0799-55-0800

※お気軽にお問合せ下さい。



しろあり被害・拡大中!!

- ・しろあり
- ・ゴキブリ
- ・ネズミ
- ・ハト
- ・その他の害虫
- ・はち
- ・ムカデ
- ・イタチ
- ・コウモリ

全島対応
いたします



調査・
見積無料!

募 集

**すもとのまなびPLUS
1尾の魚を食べつくす
さばき方教えます！**

『家庭でできる簡単魚料理教室』

魚料理教室

市漁業振興対策協議会と健康増進課による共催で、家庭で地元産の魚を食べる機会を増やすための料理教室を開催します。

▼日時 11月5日(火)・12日(火)・26日(火)

午後7時～午後9時

▼場所 洲本中央公民館

▼参加費 500円

▼申込期限 9月30日(月)

▼定員 15人

※定員を超過した場合、抽選を行います。

▼開催日 ①10月22日(火) ②11月17日(日)

▼開催時間 午前10時～正午

▼場所 五色中央公民館

▼受講料 500円(材料費込み)

▼申込期限 ①9月30日(月) ②10月31日(木)

▼募集人数 各回12人

※募集人数を超過した場合、抽選を行います。

▼申込方法 参加申込書に記入の上、持参またはFAXで申し込みください。



参加申込書はこちら

■問 五色中央公民館
FAX 33-11930
TEL 33-11320

すもとのまなびPLUS 実践型A-I体験講座 －イベント企画・運営におけるChat GPT活用法－

A-Iを使つた実習を交えた3日間、3部構成の講座です。

▼日時 11月5日(火)・12日(火)・26日(火)

午後7時～午後9時

▼場所 洲本中央公民館

▼参加費 500円

▼申込期限 9月30日(月)

▼定員 15人

※定員を超過した場合、抽選を行います。

▼開催日 10月22日(火)・11月17日(日)

▼開催時間 午前10時～正午

▼場所 五色中央公民館

▼受講料 500円(材料費込み)

▼申込期限 ①9月30日(月) ②10月31日(木)

▼募集人数 各回12人

※募集人数を超過した場合、抽選を行います。

▼申込方法 参加申込書に記入の上、持参またはFAXで申し込みください。

▼内容 「暮らしに役立つ庭づくり」
「花や野菜を楽しもう」

▼講師 深町 貴子 氏

問 県技術企画課
☎ 078-362-9248



申し込みはこちら

洲本市美術展出品者 第77回

ふれ愛まつり2024

▼事前申込期限 10月8日(火)

▼日時 10月13日(日)
午前10時～午後2時

▼募集作品 日本画、洋画(版画)、書
彫塑・工芸、写真
※雨天時は屋内コーナーのみ



申し込みはこちら

催し

▼定員 200人(先着順)

▼参加費 無料

▼場所 五色文化ホール

▼要申込

問 (一財)淡路島ぐにうみ協会
☎ 24-2001

▼応募資格 (自作未発表作品)
満15歳以上(中学生を除く)
○健康・福祉コーナー
(血管推定年齢などの測定ほか)

▼内容 ○青空コーナー
(模擬店・フリーマーケットなど)

▼場所 やまと会館

▼出品料 ▽一般 千円
▽学生 無料

▼作品の搬入 ▽日時 10月20日(日)
午前10時～午後5時
▽場所 文化体育館

▼一般公開 ▽期間 10月31日(木)
午前9時30分～午後6時
▽時間 11月4日(月・振休)
▽場所 文化体育館

○映画上映会
「ピア」の上映
※映画上映会の時間は午後0時20分～午後2時、鑑賞料500円

問 福祉課 ☎ 26-1166



詳細はこちら

淡路花祭2024秋

コスモスなど秋の花の開花に合わせ、ウェルネスパーク五色をはじめ島内各所で多彩なイベントを開催します。期間中、「花の島淡路インスタグラムフォトコンテスト」などを実施します。

▼期間

10月5日(土)～11月10日(日)



詳細はこちら

施設

S BRICK

島のとびら
～島のとびら、
ノックしてみませんか～

公的複合施設のS BRICK と淡路島からJリーグ昇格を目指すFC・AWJが共同で淡路島の魅力発見フォーラムを開催します。

▼ゲスト

米田 恵美 氏
(元Jリーグ理事)

申込みはこちら



申し込みはこちら

おめでとう

第1回アルティザン
チーズアワード

ノックしてみませんか～

パスタファイラータ熱成部門
Super Gold 優秀賞

淡路島牛乳株式会社

第46回未来の科学の夢絵画展

小・中学校の部 優秀賞
淡路少年少女発明クラブ

富本 千晴 さん

2024

国際親善空手道選手権大会

35歳～39歳男子(70kg以下級)

優勝
山田 浩人 さん



まちづくりに役立つ ハロウィンジャンボ宝くじ

ハロウィンジャンボ宝くじの収益金は、県内市町のより良いまちづくりに活用されています。収益金は、各都道府県の販売実績などに応じて交付されますので、ぜひ、県内の宝くじ売り場またはインターネットでお買い求めください。

発売期間 9/17(火)～10/17(木)

(公財)兵庫県市町村振興協会 078-954-6020

10月の無料相談

■法律相談(予約制) ※年度内で1回限り
日時 2日(水)、16日(水) 13:15～16:15
場所 市役所本庁舎2階(受付)
予約 市民協働課 ☎22-2580

行政相談

日時 9日(水) 13:15～15:00
場所 市役所本庁舎2階(受付)
問 市民協働課 ☎22-2580

■法律相談(予約制) ※年度内で1回限り
行政相談

日時 9日(水) 13:30～15:00
場所 五色中央公民館
予約 窓口サービス課 ☎33-0161

消費生活相談

日時 毎週月～金曜日(祝日を除く)
8:30～12:00、13:00～17:15
場所 市役所本庁舎2階
問 消費生活センター ☎22-2580

明石年金事務所による年金相談(予約制)

日時 17日(木) 10:15～15:00
場所 文化体育館
予約 明石年金事務所 ☎078-912-4983

テレビ電話による無料法律相談(予約制)

日時 毎週木曜日(祝日を除く)
13:30～15:30
場所 県洲本総合庁舎
予約 淡路さわやか県民相談室
☎0120-36-7830(携帯電話からは☎0799-22-3541へ)

テレビ電話による無料家事(家庭問題)相談(予約制)

日時 11日(金)、25日(金) 13:30～16:30
場所 県洲本総合庁舎
予約 淡路さわやか県民相談室
☎0120-36-7830(携帯電話からは☎0799-22-3541へ)

こころのケア相談(予約制)

日時 8日(火) 14:00～16:00
場所 県洲本総合庁舎2階
予約 洲本健康福祉事務所
☎26-2060

教育相談(予約制)

日時 11日(金) 13:00～15:00
場所 県洲本総合庁舎1階
予約 淡路教育事務所 ☎22-4152

農事相談(地元農業委員を通じて予約)

日時 10日(木) 13:30～14:30
場所 市役所本庁舎3階
問 農業委員会事務局 ☎24-7628

建築士事務所協会員による

住宅の耐震相談(予約制)

日時 23日(水) 13:30～16:00
場所 県洲本総合庁舎
予約 長次設計 ☎22-1976

10月のすくすく子育てカレンダー

▼みなと元気館 ☎ 22-3337



行事	日	受付時間	場所
母子健康手帳交付・妊婦相談 ※母子健康手帳は受付時間外でも交付できます。 お問い合わせください。	2日(水)、9日(水) 16日(水)、23日(水)	13:30~14:30	みなと元気館
乳幼児すくすく子育て相談 (0ヶ月~就学前まで)	電話でお問い合わせください		
ままくらぶ (妊娠婦・0~1歳児まで)	10日(木)	10:00 ~ 11:30	五色すこやか子育てセンター
	15日(火)		やまと会館
	25日(金)	10:30 ~ 12:00	S BRICK
発達支援相談<要予約>	電話でお問い合わせください		みなと元気館

▼洲本図書館 ☎ 22-0712

行事	日	時間	対象
本の読み聞かせ	2日(水) 19日(土)	10:30~	0~3歳児 妊娠婦
	12日(土) 19日(土)	11:00~	3~6歳児
		11:30~	小学生
おりがみ教室	5日(土)	10:30~	—
対面朗読	電話でお問い合わせください		目の不自由な人

▼五色図書館 ☎ 32-1693

行事	日	時間	対象
本の読み聞かせ	10日(木) 24日(木)	10:30~	0~3歳児
	毎週 土曜・日曜	10:30~	3歳児~
工作教室	20日(日)	14:00~	—

- おりがみ教室・工作教室への参加申込は前日まで(定員あり)。
- 対面朗読は事前に申込が必要。

子育てコラム

「子どもの成長のために

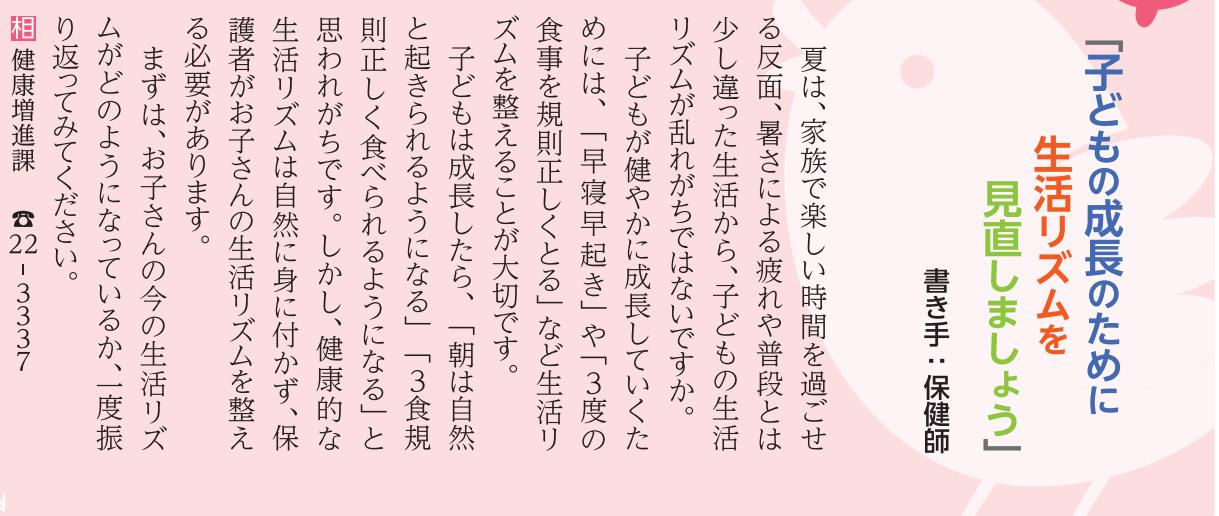
生活リズムを見直しましょう

書き手：保健師

まずは、お子さんの今の生活リズムがどのようにになっているか、一度振り返ってみてください。保護者がお子さんの生活リズムを整える必要があります。

子どもは成長したら、「朝は自然と起きられるようになる」「3食規則正しく食べられるようになる」と思われがちです。しかし、健康的な生活リズムは自然に身に付かず、保護者がお子さんの生活リズムを整える必要があります。

夏は、家族で楽しい時間を過ごせる反面、暑さによる疲れや普段とは少し違った生活から、子どもの生活リズムが乱れがちではないですか。子どもが健やかに成長していくためには、「早寝早起き」や「3度の食事を規則正しくとる」など生活リズムを整えることが大切です。



令和5年生まれの赤ちゃん大集合 洲本のニュースター ☆



菅 瑠華ちゃん R.5.7.3生
心も体も元気にのびのび育て～!
(父 玲央菜 より)



吉井 陽菜ちゃん R.5.7.9生
お兄ちゃんと仲良くしてね
(父 裕康 より)



仁里 咲耶ちゃん R.5.7.18生
健康に育ってくれてありがとう!
(母 小夏 より)



小嶋 心ちゃん R.5.7.27生
元気いっぱい育ってね!
(父 重待 より)



赤澤 和奏ちゃん R.5.7.28生
笑顔いっぱいのびのび育ってね
(父 慎一 より)



西山 楓真ちゃん R.5.5.23生
これからもずっと一緒にいようね。
(姉 彩葉 より)

おすすめの一冊



『藤井弁当』
藤井 恵/著

毎日のお弁当作りって大変ですね。毎日作っている人だけでなく、これから始めようという人にも、お薦めしたい一冊です。

使うのは卵焼き器だけ。お弁当作りをパターン化することで時短にもなり、後片付けもラクになる。ストレスなく続けられる工夫がいっぱいです。著者が15年かけて編み出した、食べる人も大満足のお弁当レシピが満載です。

図書
だより

● 開館時間 ●

10:00 ~ 18:00

● 10月のカレンダー ●

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



● 洲本図書館休館日
● 五色図書館休館日
◀新着情報は HP で

青春の1ページ - 高校生の部活動レポート vol.15-



洲本実業高校の茶道部は現在、11人の生徒が所属。部活動を通して、日本の礼儀作法も学んでいます。自分たちで点てたお茶で、お菓子を楽しめるのも同部の魅力だそう。

私がお伝えします



3年生
川渕 修大さん

部で“大切にしていること”は?

茶道は、おもてなしの心や日本人の優しさが感じられる日本文化の象徴の一つです。お客様に心地よさを感じてもらうために、一つ一つの所作や道具の扱いまで、丁寧できれいな振る舞いを心がけています。そして、お客様に美味しいと思ってもらえるお茶を点てることが、何よりも大切なことです。

あなたの部の“これから”は?

茶道は堅そうなイメージもあるし、お茶を点てる手順を覚えるまではごく難しいですが、日本の文化に触れるというのは、とても貴重です。だから男女問わずいろんな人に茶道を体験してもらって、部がいつまでも続くとうれしいです。

文化祭や地域のイベントでお茶席を設けているので、皆さんにも気軽にお茶を楽しんでもらいたいです。点てる人の技術や心によって、味も変わりますので、茶道の奥深さを感じてほしいですね。

地域おこし通信

淡路島の自然から学ぶ



私はこれまで「道の駅」の開設準備に携わりながら、ECサイトの運用やイベント出店を経験しました。それらに加えて、養蜂で採れるハチミツを活用した活動にも注力しています。市内の花から採れたハチミツと市販ハチミツを食べ比べるイベントを開催し、訪れた人々に洲本のハチミツの上品な味を楽しんでもらいました。合わせて、ミツバチの生態や環境問題について触ることで、参加者に自然との繋がりを考える機会を提供しました。

さらに、隊員同士で協力し、保育園などで子どもにミツバチ観察を通じた自然教室を実施しました。地域の自然資源を生かした教育活動により、大人も子どもも環境意識を育てられる感じています。



園田 薫
地域おこし協力隊
(令和4年7月より活動中)



プレゼントコーナー

アンケートに答えるか、インスタグラムに投稿すると
抽選でプレゼントが当たります。



今月の
プレゼント

あわじオレンジスティックといちじくチョコのセット

長手長栄堂

〒656-0025 本町五丁目3番26号

☎24-1050



店長の
長手 瞳子さん

洲本城のイメージ菓子
「石垣ほろり」や洲本産の
レモンを使った「レモンケーキ」など
もご用意しております。

プレゼント協賛事業所を募集しています。
おすすめ商品などを提供してPRしませんか。
詳しくは 秘書広報課 ☎26-0175



抽選で3人にプレゼント! 広報すもとアンケート

①～③の内容に答えてください

- ①今月号でよかつた内容を教えてください
- ②取り上げてほしい内容や企画を教えてください
- ③広報に関するご意見などをお聞かせください

ハガキかウェブで、アンケートの答え、
住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、
ご応募ください。10月7日(月)必着。

【ハガキ】

〒656-8686 本町三丁目4番10号

秘書広報課「広報すもとアンケート」

【ウェブ】

回答はこちら▶



夏の#sumoto ❤

インスタグラムに#sumoto ❤ と#夏あつめ をつけて投稿された
写真の中から、イチ押しの写真を紹介します。



◀投稿のテーマは
広報すもと公式イ
ンスタをチェック



@kaeru_0222さん



@tsubameshashinkanさん



@t_farm1971さん

掲載者の中から1人に抽選で今月のプレゼントが当たります。皆さんの投稿お待ちしています。



8月10日(土)

聞いて楽しむ絵本の魅力 ドリちゃんのおはなし会



本市出身で俳優のキムラ緑子さんが、洲本図書館で子どもたちに絵本を読み聞かせる催しを行いました。

キムラさんは、子どもに人気のある絵本や自身の思い出に残っている絵本などを選び、読み聞かせを披露。俳優としての高い表現力に、子どもたちの聴き入る姿が見られました。また、この日はトークショーも行われ、キムラさんの小学生時代の話が飛び出すと、来場者からは笑い声が上がりました。



8月21日(水)

佐渡裕氏とスーパーキッズ・オーケストラ すもとミュージックキャンプ2024



淡路島音楽大使であり、世界で活躍する指揮者・佐渡裕氏率いるスーパーキッズ・オーケストラが文化体育館でミニコンサートを開催しました。同オーケストラによる市内での演奏は今回で5回目。

休憩なしで10曲が披露されると、弦楽器の美しい音色に観客から惜しみない拍手が送られました。演奏を聴いた宮本多恵さんは「楽しんで演奏していることが伝わる音色に圧倒された。本当にすごい」と声を弾ませました。



8月11日(日・祝)

夏休みこどもミュージアムデー 淡路文化史料館を楽しもう



同史料館が無料で楽しめる「こどもミュージアムデー」が今年も開かれ、夏休みの家族でにぎわいました。

体験会場では、本市で発見された恐竜「ヤマトサウルス」のジオラマや洲本城のペン立てを熱心に作る子どもたちの姿が見られました。

ジオラマ作りに挑戦した東原寿々さんは「上手にできた」と笑顔を見せました。



8月16日(金)～18日(日)

すもとっ子MANABIプロジェクト いどうこんちゅうかん



生きた昆虫に触れられると人気の「いどうこんちゅうかん」が洲本中央公民館で開かれました。

ヘラクレスオオカブトやノコギリクワガタなどを目の前にし、参加した子どもたちは歓声を上げました。また、セミやチョウ、トンボなどの昆虫でいっぱいの大きな蚊帳では、捕まえたり観察したりして、昆虫との触れ合いを楽しむ親子の姿も見られました。



8月18日(日)

夏の思い出づくり どろん子ソフトバレーボール大会



上物部地区にある水田でどろん子ソフトバレーボール大会が開催されました。同大会は川西町内会が会員の子どもの思い出づくりや世代間交流になればと企画。

参加者は泥だらけになりながらボールを追いかけました。友人と参加した中学生の藤井誠吾さんは「とても楽しかった」と話しました。



8月21日(水)

兵庫医科大学との 地域連携協力に関する協定を締結



本市は、兵庫医科大学と「地域連携協力に関する協定」を締結しました。この協定は、双方が有する人材や知識、情報などの資源を活用し協力することにより、健康の増進および地域の活性化に寄与することを目的としたもので、上崎市長は「今回の協定は、非常に頼もしいもの。一緒になって、地域の健康づくり、そしてフレイ儿予防を進めたい」と話しました。



8月24日(土)・25日(日)

「わくわく」おもしろ実験にチャレンジ 科学のふしぎ三島教室



三島博士顕彰会と東工大 Science Technoによる科学の楽しさを伝える同イベントが文化体育館で開催され、延べ54人の小学生が参加しました。

24日(土)には、電磁気について学ぶアクセルごま作り、25日(日)には風に向かって進むウインドカー作りが行われました。2日目に参加した広石小学校4年生の大濱七菜さんは「風を送ると車が自分の方に向かってくるのが楽しかった」と笑顔で話しました。



9月2日(月)

高齢者保健福祉月間 敬老のお祝い 施設訪問



上崎市長、福本巧市議会議長、廣地タマヘ社会福祉協議会会长らが地域密着型特別養護老人ホーム洲本たちはなプラスを訪れ、入居者の長寿を祝いました。市長は「年を重ねても元気な人が増えている。これからも健やかな毎日を送ってください」と祝福しました。

また各団体からはお祝いの品として食料品や飲料が贈られ、入居者を代表して新岡洋一さんがお礼の言葉を述べました。



9月5日(木)

インターハイ入賞結果報告 国民スポーツ大会にも出場へ



今年のインターハイ・ローイング競技少年女子シングルスカルで5位入賞した洲本高校漕艇部の富貴彩愛さんが、結果報告に市役所を訪れました。上崎市長は「みんなが夢を見させてもらった」と感謝の思いを伝えました。

富貴さんは佐賀県で開かれる国民スポーツ大会に、県代表として同競技に出場を予定。大会を前に「さらに上を目指したい」と意気込みました。

(9月6日時点で大会未了)



山内 茶道部の取材で、複雑な手順にもかかわらず、亭主の無駄のない美しい所作に、つい写真を撮ること忘れ、見とれてしまいました。伝統文化を学びながら、礼儀作法や心の落ち着きを得られる茶道、おすすめです。



山内



佐野

川井 淡路島まつりを初撮影。3日間あちこちで写真を撮りました。上の写真たちは、広報メンバーによって撮られた1万枚を優に超える写真の一部です。私の写真も採用され、安堵しています。



川井

淡路島まつりを初撮影。3日間あちこちで写真を撮りました。上の写真たちは、広報メンバーによって撮られた1万枚を優に超える写真の一部です。私の写真も採用され、安堵しています。

編集後記